

経営協議会議事要旨

1. 日 時 令和4年2月14日（月）
2. 場 所 紙上
3. 委 員 福田（学長・議長）
青山，今井，岡井，櫛引，永澤，三國谷，九戸，木村，稲庭
吉澤，渡邊，郡，若林，石川，大山，安川
4. 配付資料
資料1 令和4年度 弘前大学予算作成方針（案）
参考資料1 予算ヒアリングにおける各部局からの令和4年度要望事項等（たたき台）
参考資料2 弘前大学の令和4年度運営費交付金について

5. 審議事項

2月14日付けで各委員へ経営協議会（紙上）の開催通知及び資料を送付。

審議1 令和4年度 弘前大学予算作成方針（案）について

審議事項1について、資料1により諮ったところ、委員17名から回答があり、17名の承認が得られ、原案のとおり承認された。

<委員からの意見>

○機器の更新などについて

各部局からの要望事項（たたき台）の中に、教育研究施設の機器や設備、環境の更新が多く、時代の移り変わりを感じた。

導入当時は最先端だった機器も、コンピュータ関連、映像関連、光学機器、放射線関連など機器の発達は著しい上に、法改正などもあり、ものによっては陳腐化して使えないものが多い。

すでに、業務や研究に支障をきたしているものも多いと思われ、早急に更新すべきと考える。

○教員研修機能の充実について

2月18日付東奥日報社30面に、青森県教育委員会が東京学芸大学と連携協定を結ぶという記事が出ている。同大学が来年度から先端教育人材育成推進機構を設置、開発プログラムに参加し、意見を反映していくというものだが、少し残念に感じた。

弘前大学でも、来年度からミドルリーダー養成コースなどで教員人材育成をする予定なので、進め方に工夫が必要と思った。

以 上